

令和5年度から「多様な地域の背景に対応していくための話し合いの展開」、「第1層と第2層の連動」を意識した体制強化を進めてきました。

そして、新たなメンバーに参加いただき、令和5年12月11日（月）に、『第19回 いっそう元気！東近江』を開催し、「最近気になっていること」や「今後取り組んでみたいこと」などを話し合いました。



最近、気になっていること、「いっそう元気！東近江」で取り組んでみたいこと



❖コロナ禍を経て、改めて、集いの場の大事さを実感！

- ・コロナで中止していたサロンが少しずつ再開。コロナ前よりパワーアップしている地域もある。
- ・高齢者の多くは人と出会い話したい。より身近な場所で開催することに意味がある。色んな場を選べると良い。
- ・元気なうちから自分を知ってもらうことが大切。
- ・男性が参加しやすい居場所づくりや仕掛けづくりが必要。

❖フレイル予防を地域の専門職と一緒に進めていきたい！

- ・社会のつながりが減るとフレイルが進む。元気でいられる術を伝えるのも専門職ができること。
- ・サロンなどに出向くと「元気で過ごしたい」と健康に対するニーズの多さを実感している。
- ・介護事業所の専門職と一緒に、地域へフレイル予防をすすめていけると良い。
- ・高齢者をひとくくりにして幅広い方が参加できる集いの場をつくりがちだが、年齢・体力・介護度などでターゲットを絞った居場所をたくさんつくる必要がある。

❖高齢者が活躍できる機会、社会参加の機会づくり

- ・元気だけど何もすることがない人もいる。元気な高齢者を地域活動とマッチングできるしくみがあると良い。
- ・病気でもエネルギーのある人はいる。つながりが必要。
- ・働く場や居場所をつくと人が集まる。そうすると仕事の依頼が入り循環が生まれる。
- ・働いた人に少しでも報酬は必要。稼ぐことがやりがいい。



❖居場所や地域活動に参加したいと思ってもらえる工夫やポイント

- ・できることで役に立つ、頼りにされる満足度は大きい。少し頼み過ぎ？が良い塩梅かもしれない。
- ・場だけでなく、誘い上手やその気にさせることが上手な人を増やすことがポイント。
- ・ボランティアは有償も一つ。子育て世代の空時間での働きにもつながる。そこからつながれる。

❖ 移送支援のしくみは、住民主体だけでは難しい。

- ・外出しなくなると機能低下がおこり、フレイルが進む。
- ・「参加しない」と「外出しない」では大きな違いがある。行動範囲が狭まった人の行ける居場所や支援が必要。
- ・家族がいても困窮や虐待などの課題がある人もいる。
- ・地区の住民の支え合いで外出支援のしくみを考えようとしたが難しさを感じた。市域でのしくみづくりが必要。
- ・福祉施設や仕出し屋の空車両の活用を考えられないか…
- ・ちょっとバスなど公共交通機関が使えない人、タクシーを使うにも家計的な余裕のない人、誰も頼むつながりがない人は、生活支援サポーターや近所の支え合いで対応している現状。
- ・サポーターやボランティアも高齢化。次の担い手も増えない。いつまでボランティアの力に頼るのか…送迎にはリスクがあることも認識しないといけない。



- ・高齢者の運転が危ないと訴えるだけでなく、できるだけ長く車に乗れる環境づくりが必要。
- ・免許返納の基準は、本人も家族も判断しにくい。シュミレーターがある病院は、医師のアドバイスがもらえる。
- ・タクシーやバスの運転手も高齢化。「ライドシェア」を検討する自治体もある。ここに期待できないか…
- ・65歳を過ぎても働きたい、働かないと生活できない高齢者もいる。移送支援をビジネスにできると良い。



❖ ゴミ出しの背景には孤独・孤立がある。

- ・プライバシーに関わるため、近所に頼めば良いと簡単に言うことではない。ゴミを見られたくない人もいる。
- ・助けたいが、昔からの馴染みの関係がないと難しい。
- ・ゴミステーションの掃除ができない、ひとりで運べないなど出せない人はいるが、課題が潜在化している。
- ・自分で出せない人の多くは介護保険を利用されている。支援者が預かったゴミを捨てに行ける場所があれば…
- ・県内の市町には「共同ゴミストック」が設置され、登録制でケアマネやヘルパーが捨てに行ける。
- ・ゴミを家まで取りに来てくれる自治体もあると聞いたことがある。



❖ これからの“地域”の捉え方と住民の意識

- ・つながりがある地域には入りにくいという声もある。地域に対する意識や価値観も変化している。
- ・つながりたくないという人をどう見守っていくかも課題。
- ・生協を頼むが生活状況を知られたくない人もいる。配送を「知っている人は嫌」という人もいる。
- ・デイサービスも知り合いがいるところへ行きたい人、行きたくないと言う人と二分される。
- ・独居高齢者が増える中、ひとりでできないことも増えている。民生委員に手術の説明に同行して欲しいと相談があった。
- ・近所の目を気にすると、民生委員への相談もハードルがある。

